

『農業に関する作文・図画コンクール』作品発表

農業委員会では、次代を担う子どもたちを対象に、毎年「農業に関する作文・図画コンクール」を開催しています。

今年飯山市内各小学校から、作文63点、図画109点の応募をいただきました。11月25日(日)、太田地区のトピアホールで開催される「農のまつり」では、応募いただいた図画全作品と作文入賞作品を展示し、併せて入賞された皆さんの表彰を行います。たくさんの方の皆さんにご来場いただき、小学生たちの力作をご覧いただきたいと思ひます。

最優秀作品 「おばあちゃんのおしごと」

戸狩小学校2年 福澤祐香

あさ4時30分からおばあちゃん野菜をつくるしごとをしています。つくっている野菜はズッキーニやトマトじゃがいもなどたくさんあります。しゅるいの野菜をつくらせています。

わたしは、朝おばあちゃんがつらそうだったので、ズッキーニを手つだいしました。じゃがいもをほるときにさいしよはすこしあさくほつてしまつたけど、さいごになるとさいしよより、すこしふかくほれるようになりました。

わたしは、朝おばあちゃんがつらそうだったので、ズッキーニを手つだいしました。じゃがいもをほるときにさいしよはすこしあさくほつてしまつたけど、さいごになるとさいしよより、すこしふかくほれるようになりました。

うなあと思ひました。

うちでそだてている、トマトはあまくておいしいです。きゅうりはみそをつけるのがだいすきです。やさしいをつくってくれる、おばあちゃんがいすきです。うちでそだてているやさしいのなかで、トマトが1ばんだいすきです。

おばあちゃんをつくらせている野菜は、うきょうでうつついすきです。かっている人もおいしいとよろこんでくれているだろうなあと思ひます。

これからはうちのやさしいをたべていきたいとおもひます。おばあちゃんがつくれたときはおてつだいをしようとおもひます。

最優秀作品 「苦勞しておいしい野菜ができること」

木島小学校5年 高橋ひより

私の家は野菜をつくらせていません。そのためいつも野菜はスーパーで買って食べています。しかし、いつもあたりまえに食べている野菜は農家の人が一生けん命作つていて、中には一年中お世話をしてとれる物もあることを知りました。

学校の畑はみんなの苦勞のおかげでおいしい野菜をしゅうかくできました。

ある時、トマトのつるに、しちゅうをたてなかつたので畑がジャングルみたいになつてしまひ、トマトがほとんどとれない時がありました。わずかにできたトマトをしゅうかくするにも「苦勞で、しちゅうをたてないとこうなつてしまふんだ、とあらためて分かりました。なので先生にたのんでその次の年にはしちゅうをたててもらいたくさんのトマトを作ることができました。こうした経験を今まで知らなかつた農家の人の大変さを知ることができました。スーパーに売つている野菜一つ一つにも作つた人の思いがこめられているんだなあと思ひ、食べ残しはよくないと思ひました。そしてこれからは食べる時に作つてくれた人のことを思ひながら、「いただきます。」としつかりあいさつをしておいしく食べたいです。

作文優秀作品

「いろんな野菜をそだてている」

秋津小2年 常田真生

わたしのおばあちゃんは、ちで、はくさい、ミニトマト、大きいトマト、なす、とうがらし、ピーマンをうえています。なすはわたしが、お水をあげています。なすは、へたのところにとげがあるので、そのとげがささると、とつてもいたいからとられません。そのなすは、おばあちゃんがつらそうだったので、なすのつけもの、やきなす、なすのおみそしる、マナーナスなどをつくらせてもらひます。

作文優秀作品

丸なすは、かたがくずれにくいので、にたり、やいたりするりょうりにつかつて、ながなすは、かたがくずれやすいので、つけものなどにつかうとゆうことを、おばあちゃんがおしえてくれました。おばあちゃん、ゆうはんをつくらせているとき、たまに、なすを切つたりすることもあります。おばあちゃん、おりょうりがとてもじょうずなので、いろんなおりょうりのつくりかたをおしえてもらひたいです。



作文優秀作品

「ぼくは農家になる」

戸狩小5年 佐藤洗斗

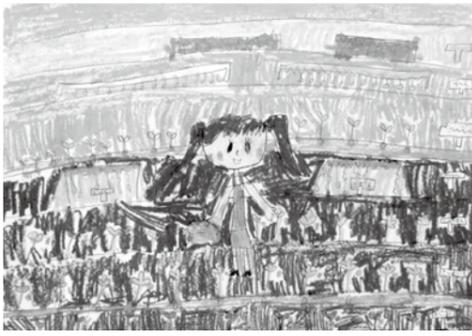
お父さんは農家です。おいしいお米を作ること考えています。天気や水、肥料や機械などがたくさんあります。だからぼく達家族は協力して仕事をしています。

春、ぼくは夏兄と育苗箱にシートとマットを入れます。学校から帰ると格納庫に寄つて今日の仕事を確かめます。宿題を終らせて仕事をします。ていねいにマットを入れないと欠けてしまひ、よけいな仕事が増えるので集中します。時々、お父さんが運転するトラクターに乗

せてもらうのが楽しみです。田んぼを起したり、代かきをしたり機械の力はすこいとおもひます。ぼくが農家になりたい理由の一つがこの機械の運転がしたいからです。ハンドルとレバーで自由に動かせることにワクワクします。

夏、裕兄に助けてもらひながら、草刈り機を動かします。草刈り機の方がぼくより重いので、あぜから外れないように押して歩くのは大変です。今年、肥料まきの機械がせ負えるようになりました。おばあちゃんに「力がついて頼りになるよ。」と喜んでもらひました。でも「暑いから、もっと大きくなつたら頑張つてもらえばいいよ。」と言われまひました。それだけ夏の仕事は体力が必要です。

秋。コンバインで刈つた後に落ちたほも拾ひ、お米1つぶを大事にします。お米を買つて「おいしくいただきます。」と笑顔で、家のお米を喜んでくれる人がいてくれるからやっぱり農家はすこいと思ひます。田んぼの仕事は朝も早いし、力も体力もし格も必要です。でもぼくは、お父さん達のように、おいしいお米を作る農家になりたいです。



1・2学年図画の部最優秀賞
はたけへ水くれにいったよ
秋津小2年 渡辺咲耶



3・4学年図画の部最優秀賞
色々なキウウリ
泉台小4年 山室彩叶



5・6学年図画の部最優秀賞
スイカ取りをしているぼく
飯山小5年 高橋祐太

農地相談のご案内
農地の売買や賃借、転用等農地に関する事で相談したい方は、お気軽にお出かけください。

□日時 12月6日(木)
9時~午後3時

□場所 飯山市役所4階
第3委員会室

「学校の畑」
秋津小5年 上原奈々

【図画の部(5・6年) 優良賞】
「元気のいいナス」
飯山小5年 高橋英真

【図画の部(5・6年) 優秀賞】
「田植えをするすがた」
木島小5年 市村健太郎

【図画の部(1・2年) 優良賞】
「花とやさしいがっぱい」
泉台小2年 丸山結衣

【図画の部(1・2年) 優秀賞】
「はたけで草とりをしたよ」
秋津小2年 藤澤広輔

【作文の部 優良賞】
「トマトとりに行つたよ」
秋津小2年 松永朱莉

「おばあちゃんの農業」
木島小5年 高橋涼太